

2022年11月7日

各位

トランコム株式会社

求貨求車サービスで配車支援 AI を導入 ～ 10%のマッチングロス削減 ～

トランコム株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役 社長執行役員：武部 篤紀、以下トランコム）は、コア事業である物流情報サービス事業の求貨求車サービスにおいて、株式会社 PKSHA Technology(本社：東京都文京区、代表取締役：上野山 勝也、以下 PKSHA) の予測・最適化技術を活用したアルゴリズムを導入いたしました。

■AI 導入の背景

当社は、顧客の定期幹線輸送や波動対応のスポット輸送のニーズと、全国のパートナー企業の車両情報をマッチングする求貨求車サービスを提供しております。当社が強みとしている中長距離の幹線輸送は、荷姿、荷物の固定方法、積み降ろし場所のルールなど輸送条件が多岐に渡るため、AI 等を用いた自動マッチングは難しく、詳細な情報取得や条件交渉は人手を介す必要があります。そのため「アジャスター」と呼ばれる営業スタッフが荷請け判断を行い、荷主の要望に合わせて柔軟な対応をしております。

一方で、荷請け判断には一定の属人性が伴うため、一部においてマッチングロス（マッチング可能性が高いにも関わらず荷請けしなかったことによる輸送機会ロス）が発生しておりました。今回、PKSHA の予測・最適化技術を用いた、マッチング可能性をスコア化するアルゴリズムを開発・導入することで、マッチングロスの削減を目指します。

■システム概要

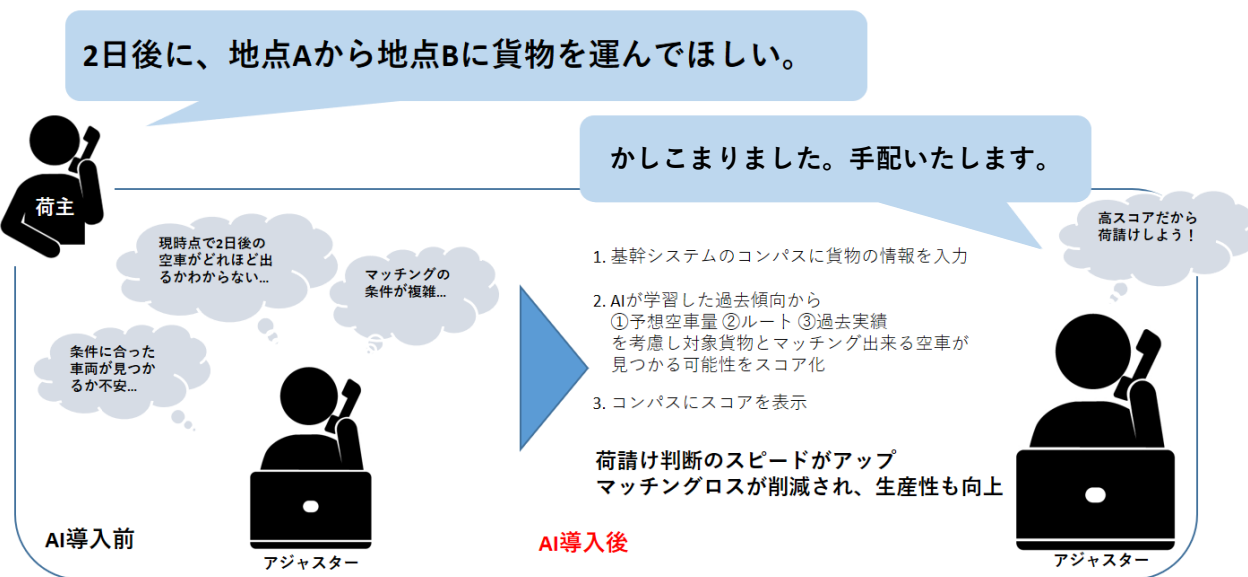
数千万にも及ぶ過去のマッチング実績、および過去数年の貨物・空車の需給傾向を AI が学習し、対象貨物とマッチングできる空車が見つかる可能性を予測、100点満点でスコア化し、スコアの根拠として①予想空車量②ルート③過去実績でアジャスターの荷請け判断をサポートします。

■AI 導入による効果

- 10%のマッチングロス削減見込み
- 荷請け判断のスピードアップに伴う顧客満足向上
- 新人アジャスターをサポート

この AI システムを導入することで、検証時の試算では、スコアを活用することで従来荷請けしなかった貨物のうち 10%（約 1 万件/年）以上が荷請けに回る見込みとなりました。取引先への対応力向上、マッチング精度の向上を図り、効率的な輸送を実現させることでドライバー不足や環境負荷低減などの様々な物流課題の解決に向けて「はこぶ」仕組みを構築、提供してまいります。

■データ活用イメージ



■株式会社 PKSHA Technology について

会社名 : 株式会社 PKSHA Technology
所在地 : 東京都文京区本郷 2-35-10 本郷瀬川ビル 4F
代表者 : 代表取締役 上野山 勝也
URL : <https://www.pkshatech.com/>
事業内容 : 自社開発した機械学習／深層学習領域のアルゴリズムを用いた AI ソリューションの開発・AI SaaS を提供

■トランコム株式会社について

会社名 : トランコム株式会社
所在地 : 愛知県名古屋市東区葵一丁目 19 番 30 号
設立 : 1955 年 3 月 10 日
資本金 : 10 億 8,004 万円
代表者 : 代表取締役 社長執行役員 武部 篤紀
URL : <https://www.trancom.co.jp>
事業内容 : 物流センター構築運営サービス、輸送マッチング・配送 サービス、生産請負・人材派遣サービス

以上

<本件に関するお問合せ>

トランコム株式会社 広報担当 : 白木、佐藤 TEL : 052-939-2023 MAIL : pr_info@trancom.co.jp